



宮崎県立都城泉ヶ丘高等学校附属中学校学校だより 第32号 (H24. 2. 1)

宮崎県都城市妻ヶ丘町27-15

TEL: 0986-23-0223 FAX: 0986-24-5884

校長 前田 哲司



質実剛健

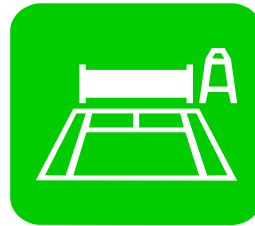
「実力と気品をそなえ、たくましくあれ！」

附属中男子テニス部 快進撃！優勝！

～第10回宮崎県中学生新人テニス大会優勝！～

(兼第10回九州中学生新人テニス大会県予選)

1月22日(日)の第10回宮崎県中学校テニス大会で男子テニス部が優勝しました。先般強化指定校に認定されその実力が試される試合となりましたが、まさにその実力が示された結果となりました。男子はABにチームが分かれ、女子は単独で参加しました。男子Bチームは1回戦で惜敗、女子は2回戦で惜敗でした。しかし、齊藤先生や寺田先生のご指導と後援会の支援、そして男女とも一致団結した結果が男子優勝に導いたものだと思います。選手諸君本当によくやりました。次は宮崎で開催される九州大会(3月24日・25日)に全力を出して臨んでください。期待しています。(下記はチームメンバーです)



男子Aチーム優勝			男子Bチーム			女子チーム		
①	尾前 勇向	(2年) 三股西	①	小野 陽正	(2年) 山之口	①	入江 彩花	(2年) 三股西
2	松元 亮	(2年) 延岡西	2	溝口 凱斗	(2年) 祝 吉	2	濱田 晏壽	(2年) 大王
3	豊國 想太	(1年) 都城西	3	荒武 諒河	(1年) 祝 吉	3	末吉 穂乃香	(2年) 都城南
4	寺本 和弘	(1年) 都城東	4	仲道 稜	(1年) 都城東	4	萱嶋 桃菜	(1年) 祝 吉
5	桑畑 和希	(2年) 三股西	5	中村 泰生	(1年) 明 道	5	新地 海生	(1年) 高 城
6	常盤 大智	(1年) 丸 野	6	中村 風雅	(1年) 大 王			

なぜ今、「平清盛」なのか？

NHKの大河ドラマ「平清盛」で時代考証のお手伝いをするようになりました。～(中略)～

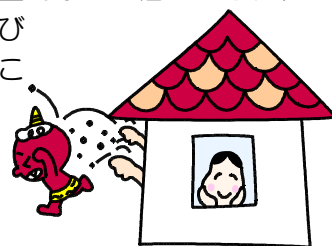
なぜ、今、「平清盛」なのでしょう。「奢る平家久しからず」で、源氏の敵役として描かれることが多いのですが、清盛=悪役という刷り込みは、『吾妻鏡』という鎌倉幕府の歴史書の影響が大きいようです。しかし、権力者としての清盛は政治家であると同時に、現在の厳島神社を造営した宗教家であり、中国大陸への航路を整備した事業家であり、殖産興業や貿易に力を注いだ経済の人でもある。

武士でありながら貴族社会を破壊するのではなく、貴族社会に飛び込んで異例の出世を果たし内側から社会を変革しようとした。清盛に対する貴族の嫉妬が「奢る平家」という言葉に込められているように思います。権力者特有の血なまぐささというものがあるまい。頼朝のように家族兄弟を殺していないし、ライバルである源氏の跡取りの命も奪わなかった。この辺りが、権力者としてちょっと抜けていてそこがまた、愛すべき上司という印象を与える。一緒に寝ている部下を起こさないように気を使い、身分の卑しい人でも家族の前では一人前に扱った。そんなエピソードが『十訓抄』に残されています。一門の一族郎党をとにかく愛したのです。まさにファミリーの大黒柱、「頼れる父ちゃん」だったのです。東日本大震災以降、家族の絆があらためて問われています。今、なぜ清盛か。答えはその辺りにあるように思います。そして、なにより、私の愛する清盛の明るさが日本を元気づけてくれると信じています。

プレジデントFamily 本郷和人 東京大学准教授 より

日々の活動を大切に！

1月が行ってしまいました。1月も最初の1週間位まではゆっくり進んでいる感がありますが、本校入試や高校推薦入試の準備などを慌たたく進めると空を飛ぶように時間が過ぎてしまいます。2月に入り3日は節分、4日は立春です。「節分は季節の分かれ目を指し、本来なら立春、立夏、立秋、立冬の前日の年4回ある。だが、旧暦では新年は「春」から始まることもあり、室町時代ごろから立春の前日だけが「節分」と呼ばれるようになった。」と言われます。各家庭では豆まきをされることでしょう。豆まきについても「古代中国で大晦日に桃の木で作った弓矢を射て鬼を追い払ったという『追儺（ついな）』が元々の由来だそうです。我が国には奈良時代に伝わり、平安時代に宮中行事として取り入れられ、その中の一つが『豆まき』に形を変えて庶民に広まった。大豆には霊的な力が宿るとされ、『射る』に通じる炒った大豆（福豆）をまいて鬼（邪気）を追い払い、福を呼び込むとされ、窓を開けて『鬼は外』と外に向かって2回、そのあと鬼が戻ってこないように窓を閉めて『福は内』と室内に2回まくのが通常のまき方」だそうです。インフルエンザにかからないように、また、新型インフルエンザが流行しないように祈りつつ、日々の健康管理に気を付け、福を多く呼び寄せたいものです。



規則正しい生活、適度な運動、バランスのよい食事、睡眠など日常の生活を大切に、活動が積極的になるこれから、勉強でも運動でも自分から意欲的に取り組みたいものです。嫌々しても力はつきません。どうせやるなら自分から「攻め」の気持ちで取り組んだ方が結果は当然良くなるし、面白くなります。後2か月で今年度も終わります。「有終の美」を飾るために、次年度につなげるためにも日々の活動を大切にしたいものです。

立志式が2月13日にあります！

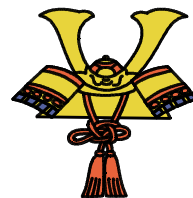
「立志」とは…

※保護者の皆様の参加をお待ちしています。

立志とは、大人の仲間入りとなる昔の「元服」にならって生徒たちが志を立てるものです。この「立志式」では、今までの自分を見つめ直し、大人になるための自覚を持つこと、また、将来を見据えて、よりよい進路への目標をもたせるとともに、目標実現のために努力しようとする心構えをもつことをねらっています。

立志式

1 開式のことば		
2 あいさつ	学校長(前田校長) PTA会長(本村会長)	9:15~ 9:17 9:17~ 9:30
3 記念講演	前宮崎県知事 東国原 英夫 氏	9:30~10:30
お礼のことば	生徒代表あいさつ	10:30~10:32
移 動	義友会館	10:32~10:40
4 決意発表	附属中2年生全員	10:40~11:00
5 立志の誓い	附属中2年生全員	11:10~11:15
6 親子手紙交換		11:15~11:25
7 1年生から2年生に贈ることば		11:25~11:27
8 保護者から贈ることば		11:27~11:30
9 校歌斉唱		11:30~11:35
10 閉式のことば		11:35~11:37 12:35~13:20



※ 保護者による昼食会(2年生全員)いずみ会館にて

東国原英夫(ひがしこくばる ひでお)氏プロフィール

1957年9月16日、鹿児島県霧島市出身、宮崎県都城市出身の政治家、タレント、前宮崎県知事、都城市立大王小入学、東小学校に転校卒業、妻ヶ丘中学校入学卒業、宮崎県立都城泉ヶ丘高校入学卒業(ハンドボール部所属、2年連続インターハイ出場)、専修大学入学卒業、早稲田大学政治経済学部入学等

